



## 少しずつコロナ前の活動へ

新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、感染症対策をしつつ教育活動をコロナ前の活動に戻しています。

本校小中学部では、治田小、埴生小、八幡小、埴生中、更埴西中と交流及び共同学習をしています。本校の子どもたちにとっては、障がいのない子どもたちと



交わり、大きな集団の中で様々な刺激を得る貴重な機会であると同時に、小中学校の子どもたちにとっては障がいのある子どもたちと養護学校に対する理解を深める機会となります。

5月18日には、今年度初めての小学部と治田小との交流がありました。一緒にゲームをする中でお互いを知る、楽しい時間になりました。

また、各部では、修学旅行や宿泊学習、校外学習といった行事も、感染対策をしながら行っています。高等部2年生の宿泊学習は、善行寺散策や体験学習（おやきづくりや陶芸教室等）を行いました。中学校から本校の高等部に入学してきた生徒が「中学校時代はコロナでお泊りができなかったから、とてもうれしい」と言っていたことが印象的でした。

さらに、子どもたちの教育活動だけでなく、駐在さんや地域の方を招き児童生徒の交通安全にかかわるご意見をいただく「学校安全連絡協議会」や、今年度4年ぶりに6月17日に開催予定の同窓会に係る計画を立てる「同窓会役員会」も開催しました。その行事や会議の目的や児童生徒にとっての意義を再確認しながら、教育活動を進めていきます。引き続き、ご理解ご協力をお願いいたします。

## 令和5年度第1回学校評議員会を開催しました

国では、学校が保護者や地域の皆様の信頼に応え、家庭や地域と連携・協力して一体となって子どもたちの健やかな成長を図っていくために、学校評議員制度を定めています。本校でも、PTA会長に加え、市総合教育センターや近隣の社会福祉法人、地区の代表の皆様等、6名の方を学校評議員として委嘱しています。

5月16日には、本年度第一回の学校評議員会を開催しました。委員の皆様には授業参観をしていただいたあと、今年度の学校運営の重点について校長から説明を受け、ご意見をいただきました。委員の皆様からは「一人一人に応じた教育をされており、先生方の日々の努力を感じる」「ICTも活用して働き方改革を進めてほしい。先生方に余裕がでることが、子どもたちのよりよい実践につながる」「稲荷山地区の防災計画を作り始めているので一緒に考えていきたい」といったご意見が出されました。いただいた貴重なご意見は、今後の学校運営の参考にさせていただきます。